

甘藷の育苗について

昭和二十九年は災害の年
で五月下旬から八月上旬ま
での長期に亘り低温多雨の
不順の気候が続き八月九
月には四回に亘る台風の襲
来を受けて農産物の被害は
未曾有の激しきでありまし
たがその中で甘藷は比較的
軽い被害で済みました。
昔から云われている通り甘
藷は救荒作物でありました
その上に価格が例年になら
高騰を示したので甘藷に対
する一般の感心が昂まった
ようでありました。
甘藷はこのよう重要な作
物であります本村のよう
に耕地面積の少ない所では
農業経営を合理的に計画し
なければなりませんので裁
培反別の増加を計るよりも
むしろ反当収量の増加を図
ることがよいように思われ
ます。

農産物の価格は年により
高低があり価格のよい年の
次には急に生産が増して価
格が下落し価格の安かった
次の年は生産が減少して価
格が高騰するのが常であり
まして兎角後追をする場合
が多いから耕地の利用計画
では現状維持であるが反当
収量に於て増収を計り価格
が低落しても一反当りの収
量は返つて増すようにした
いものです。

甘藷は苗半作といわれ良
い苗を適期に植えることが
増収の鍵とされていますか
ら適期に植え付けられるよ
うに良い苗を作りませう。

甘藷の苗床

- ①苗床を作る時期
三月中旬頃
- ②苗床を作る位置
排水のよい日当りのよい
場所であつて家の近くの
管理に便利の場所であつた
西の寒い風を防ぐような
障害物があれば理想的で
あります。
- ③苗床の広さ
もし防風の障害物がなけ
れば小竹か麦稈で防風垣
を作るようにしませう。
- ④苗床の広さ
出来るだけ広い方がよい
苗ができますが一反歩に
対して八坪位あれば充分
でせう。

④苗床の構造

藁か又は板で巾六尺長さ
四八尺の枠を日当りのよ
い南面に向くように作
る。

枠は北側が一尺五寸南側
が八寸位として深き平面
から五寸位を掘り下け
既肥を五寸位の厚さに踏
み込み僅かに土を入れて
油障子を掛けて置くこと
三日で発熱して来ます
発熱したらすぐ床土を四
五寸厚さに入れて種藷
を伏せ込みます。

⑤床土

よく腐熟した堆肥五と肥
えた畑土の割合がよく
混合して堆積しておきま
す。

⑥種藷の伏込み

種藷は一ヶ八〇匁位の
ものが最もよい無傷の
種藷をウズブルン一〇〇
〇倍液で消毒して頭の方
を小指の頭大の処で切り
捨て南向きに傾伏込み
七割程度土を掛けて其の
上に粗ガラを充分覆ひ障
子を掛けます。もし障子
の準備がなければ藁たば
を覆ひ保温に努めませ
う。

⑦苗床の管理

種藷のおもてに赤紫色の
芽が萌して来たたら粗ガラ
をかき分けてよく日光に
当て夜は藪を掛けて保温
に努めます四月下旬にな
つて降霜の恐れがなくな
れば夜も外気に当て、自
然の気候にならして蔓が
一尺位に延びたとき根元
の二節を残して切り取り
本畑に挿します。

産業振興青少年大会

去る一月二十
八日向市に於
て日向市、東日
杵郡内の青少年
産振大会が開催
され、本村から
の代表前田君が
参加し審査の結
果、青年学級の
部で第一位の栄
冠を得た。

よき指針となれば幸いと致し
ます。以下述べます設計に基づき
その経過と成績を発表致し
ます。

一、動機と目的
私の村は四方山に囲ま
れ戸数一三五戸、人口八四
八名の小さな部落で、農間
に沿つて田畑が散在し、農村
と山林業を主としたいたつ
て貧弱な経営規模でありま
す。

私は中学卒業後、川南県
管伝習場で一ヶ年農業の実
の熱意の現れで
あつて、村振興
の面から又青年の活動面に

手に日夜奮闘を致しており
ます、しかるに旧態依然と
した経営でありまして少し
の改善もされていません。
私の家の水碓反収が二石余
り麦が一石二斗という収量
之れではいけない何んとか
改善し増収を計らなければ
と二十八年十一月より肥料
の効果いかに確認するた
め試験研究に取りかゝつた
の通りです。

試験区別	番号	窒素			リン酸			加里		
		種類	元肥	追肥	種類	元肥	追肥	種類	元肥	追肥
1. 標準区	1	硫酸	1,000	1,000	過石	5,000	5,000	塩加	1,000	1,000
2. 石灰少量区	2	硫酸	1,000	1,000	過石	5,000	5,000	塩加	1,000	1,000
3. 石灰多量区	3	硫酸	1,000	1,000	過石	5,000	5,000	塩加	1,000	1,000
4. 熔燐区	4	硫酸	1,000	1,000	過石	5,000	5,000	塩加	1,000	1,000
5. 堆肥多量区	5	硫酸	1,000	1,000	過石	5,000	5,000	塩加	1,000	1,000
6. 尿素区	6	硫酸	1,000	1,000	過石	5,000	5,000	塩加	1,000	1,000

三、経過及効果
一、管理 麦の管理は中耕除草、土入、麦踏、追肥の四つが主であるが、生育の状態をよく観察の上適期に管理
をなした。

項目	作業名	摘要
11月25日	耕起及整地	
12. 3	畦立	石灰区は石灰撒布
12. 4	播種	反当4升播
1. 10	第1回麦踏	
1. 18	第1回追肥	下肥に硫酸1.5貫じ混じ施用す
2. 1	第1回土入	細土2分
2. 5	第2回麦踏	
2. 25	第2回追肥	硫酸1.5貫(反当)に混じ乾土2倍にて
3. 10	第2回土入	細土5分
3. 28	第3回土入	約1寸
4. 21	マンガ布	反当1.5kg
5. 28	麦刈り	地干し
6. 2	脱穀調製	収量調査

口、生育の状況
前年度麦にマンガ欠乏症が発生したので本年も四月二十一日に反当一、五kgの割合でマンガンを撒布し
た、しかし少し遅れたせいかたいした効果は見られませんでした。

調査月日	一月二十七日		三月三日		五月二十八日		二坪当	二坪当	一升重	ガマン
	区名	草丈	茎数	草丈	茎数	穂長				
標準区	一五九cm	五二本	一八七cm	八七本	一八二cm	五、六cm	一、四〇〇g	一、四〇〇g	三、〇〇g	土
石灰少量区	一五八	五	一八七	八七	一八二	五、六	一、四〇〇	一、四〇〇	三、〇〇	土
石灰多量区	一五八	五	一八七	八七	一八二	五、六	一、四〇〇	一、四〇〇	三、〇〇	土
熔燐区	一六五	三	一九六	九六	一八一	六、二	一、三〇〇	一、三〇〇	三、〇〇	土
堆肥多用区	一六〇	三	一九三	九三	一八一	六、二	一、四〇〇	一、四〇〇	三、〇〇	土
尿素区	一四〇	三	一九〇	九〇	一八一	六、二	一、三〇〇	一、三〇〇	三、〇〇	土



成人式祝賀茶話会風景

奨學資金貸與申込について

本村奨學資金貸與規則に
ついては、既に御承知の通
り高等学校以上の学校に在
学している本村出身の学生
生徒に対し次の要領により
貸与することになつていま
す。資金の貸与を受けた
のは、早目に村教育委員
会事務局へ申込んで下さ
い。

成人證書を手にシツカト

去月十五日午前十時から
東郷小学校で成人式を行
い、二一五名の成人式を行
った。式には、村長、副村
長、教育委員、各校代表、
橋口健君へ証書を、敬原
う子さんに記念樹を、それ
れ塩月村教育長から手渡さ
れた。

編集後記

梅もはころび椿も咲き小
川の水も温んで春の訪づ
れが近づいて来た。世は
あけて衆議院議員の選挙
戦の一色にぬりつぶされ
ている。

前回のようにならぬ
い連呼もなく何となく
清々しく落付いた気もし
て愉快である。

「公明選挙」は今回も大
きく叫ばれているがこれ
が公明であるべき筈な
のに、なお叫ばれなけれ
ばならぬことは誠に残念
なことである。候補者も
選挙するものも、猛反省の
要があるとしみじみ感ぜ
させられる。

幸い本村は過去のどの選
挙でもその投票率に於て
も優良な成績をあげたし
又選挙違反も出ていない
。今回もまたこの過去の輝
かしい歴史をけがすこと
なく一人一人が心がけ
よう一人一人が心がけ
て一人一人が責任をもち
て投票が行われるよう
祈念してやまなう。

本号は公明選挙号とした
御一読を乞う
切れタク
犬の追い行く
野道かな

項目	区名	総重量	子実量	一升重	二坪当容量	反当容量	百分比
標準区	一、四〇〇貫	六〇〇匁	三〇〇匁	三〇〇匁	一、〇〇升	二、七升	100%
石灰少量区	一、四〇〇	六〇〇	三〇〇	三〇〇	一、〇〇	二、六	九七
石灰多量区	一、四〇〇	六〇〇	三〇〇	三〇〇	一、〇〇	二、六	九七
熔燐区	一、四〇〇	六〇〇	三〇〇	三〇〇	一、〇〇	二、六	九七
堆肥多用区	一、四〇〇	六〇〇	三〇〇	三〇〇	一、〇〇	二、六	九七
尿素区	一、四〇〇	六〇〇	三〇〇	三〇〇	一、〇〇	二、七	100

社頭所感

新名冠仙

白衣の真袖かえしつ落葉はく
ゆにはに深き暁の霜
高庭に折たく柴のけむり白く
肌身さす霜夜のふりうぶすなの
みまかしくみわれひ伏してをり
とうとうと眺わたる大かには
鈴の音さそう笛の身にしむ
たしたしと打つ八平手は神ながら
こめて祈らむおだし大御代

昭和三十年四月十日迄
三、学資貸与額(月額)
高等学校 五百円
大学 壹千円
四、貸与者の決定
四月下旬選考委員会にお
いて選考の上決定する
尚その他不明の点につ
いては村教育委員会事務
局又は村内各小学校長、各
部落区長にお問合せ下さ
い。